

8月度月例句会 会報・HP掲載句

八月詠草

兼題：送火、南瓜、当季雑詠

送り火やこの世は送り送られて	城戸崎雅崇
思ひ出を照らし送火消えにけり	中山 知祐
送火や父母の知らない街で焚く	安井 正浩
送り火にじゃんから念仏父の遺影	小野 信
送り火のけむり一筋天に入る	生江沢五風
門火焚く家も少なし闇の中	大仲 正敏
包丁の抜き差しならぬ大南瓜	六川 里風
鉦のごとき詩句吾に生れ南瓜切る	宮川 至剛
万葉の古代朝顔むらさきに	清家 静楓
かなかなや渡るつり橋谷深く	石原 克己
<small>いちじく</small> 無花果の熟れて鴉の甲高き	佐藤 政百
大磯や海の彼方も秋の風	森 邦彦
酷暑でも床についたら悠然と	川田 勝美
子がくれたナイターチケット二人分	眞田 宗興

以上